

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

OTみえ

NEWS

No.133

2020.10



みえOTボッチャ体験会でボッチャを知る



●三重県士会のホームページ
●災害時連絡用メールアドレス

三重県 作業療法

で検索

mieotsaigai@yahoo.co.jp

contents

【広報部からのお知らせ】

掲載内容について

会員の皆様へ：広報誌への掲載希望、要望についてご意見をお聞かせください。

広報部 e-mail: kouhoumie@gmail.com

【巻頭言】

「令和2年度 一般社団法人三重県作業療法士会活動について」

一般社団法人 三重県作業療法士会 会長 田中一彦

【知人 de リンク】

南勢病院 浅沼慎也

恩賜財団 済生会明和病院 中川真澄

【施設紹介】

市立伊勢総合病院

【イベント・研修会参加報告】

「みえ OT ボッチャ体験会」に参加して 南勢病院 浅沼慎也

【各部局、委員、ブロックの活動報告】

新型コロナウイルス感染症対策に関する Zoom 情報交換会の開催 組織部部長 牧野有華

作業療法説明会の開催 作業療法啓発部部長 島崎博也

【各ブロックの活動報告】

北勢ブロック学習会の参加報告 多度あやめ病院 片岡浩士

学術部南勢ブロック共催研修会に参加して 阿児第2通所介護センター真珠荘 南 基典

【県士会からのお知らせ】

教育部からのお知らせ

福祉部からのお知らせ

【事務局からのお知らせ】

令和元年度三重県作業療法士会会員統計結果 三重県作業療法士会 副会長 松本周二

【勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について】

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

【賛助会員のご紹介】

日本モッキ	〒516-0008	三重県伊勢市船江3丁目17-19	TEL.0596-65-6039
株式会社システムネットワーク	〒530-0051	大阪府大阪市北区太融寺町2-18 9F	TEL.06-6364-0529
田中センイ株式会社	〒518-0723	三重県名張市木屋町1369-1	TEL.0595-63-7851

【求人情報】

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

【編集後記】

三重県作業療法士会会員数 661 名 施設会員 617 名 自宅会員 44 名 賛助会社 3 社

令和2年度一般社団法人三重県作業療法士会活動について

Topics



一般社団法人三重県作業療法士会 会長 田中一彦

会員の皆様におかれましては、県士会活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

今年度ご入会いただいた新会員の皆様は、新しい職場には慣れた頃でしょうか。例年であれば、新入会者オリエンテーション、社員総会で、県士会活動紹介、役員紹介などを行う予定でしたが、COVID-19拡大予防のため、社員総会はWeb会議システムで実施、新入会者オリエンテーションは中止、教育部・学術部主催研修会は延期を余儀なくされました。

COVID-19は未だ終息しておらず、今後の県士会活動は感染症拡大予防を行いながら新しい生活様式での取り組みが必要となってきます。

以下に今年度の県士会活動重点項目とCOVID-19対応について述べます。

活動重点項目として1点目は、学術・教育活動の推進です。日本作業療法士協会方針や理事会で協議した結果、現職者共通・選択研修、臨床実習指導者講習会などを下期よりオンラインにて開催することとなりました。その他の研修会・勉強会も当面の間対面での研修会は実施せず、オンライン開催となる予定です。詳細は随時ホームページに掲載しますのでご確認をお願いします。

2点目は、作業療法啓発活動・社会的貢献の推進です。こちらは、予定されていた様々なイベント・研修会が感染症拡大予防のため中止となっており、十分な活動が出来ていませんが、作業療法啓発部では、オンラインによる高校生を対象とした作業療法説明会を実施するなど、新たな啓発手段の開発を行っています。また来年度開催予定の「三重とこわか大会」への取り組みは障がい者スポーツ推進委員会を中心に実施していますので、社会的貢献として会員の皆様の実行委員・ボランティア参加をお願いします。

3点目は、県士会活動参加の推進です。福利部による新人交流会やスポーツレクリエーション大会、組織部による小人数職場OT・管理職OTネットワーク、リーダー養成研修会、事務局による三重県LINE@、Facebook運用等会員の皆様に県士会を知ってもらう活動や情報交換を行える機会を作っています。県士会活動は会員の皆様の参加により成り立っています。会員同士が支え合い組織の力を高め、県民に貢献できる団体となれるよう皆様の力をお借りしたいと思います。

COVID-19対策のため会員の皆様には、十分なサービス提供が出来ない状況ではありますが、オンラインでの企画を充実させ、全ての地区の会員が格差なく勉学の機会や情報収集が出来るよう取り組んで行く予定です。

COVID-19が終息するまで、模索的な対応が続きますが、ご協力よろしくお願いします。

知人 de LINK

南勢病院 浅沼慎也

こんにちは。前回、介護老人保健施設みやがわの山本雄太さんより紹介を頂きました、南勢病院の浅沼慎也です。山本さんとは同じ専門学校の級友であり、勉強では座学、実技、口頭試問といった分野で助け合いながら過ごしていました。休み時間では他愛のない話で盛り上がり楽しんでいました。

私は南勢病院に勤めて3年目になります。現在、午前中に精神科訪問看護、午後には病棟作業療法で勤務しております。地域で暮らす利用者、病院の入院患者の両面から関わることで、今、何が重要なのかという点を大切にしています。忙しい日々を送っていますが、利用者や入院患者の方と様々な話をすると同時にコミュニケーションを取りながら楽しく過ごしています。

プライベートでは、様々な趣味を日替わりで過ごしています。スポーツ、釣り、ショッピングといったアウトドアなことから音楽鑑賞、ゲーム、プラモデル、オンライン通話など部屋で行うものまであります。新しいことに挑戦することや、様々な人の趣味を共有することで、新しい発見が出来るのがとても楽しいです。

また、同期の作業療法士と連絡を取って、食事をすることもたまにあります。食事ができない際にも、オンライン通話で話し合っています。皆で予定を合わせて話し合う事で、普段の疲れを忘れて楽しく過ごします。最後には、明日も頑張ろうという気分になります。

今回は、専門学校の級友であり、楽しい時間を共にした塩川病院で勤めている瀬古拓哉さんを紹介させていただきます。よろしくお願いします。



恩賜財団 済生会明和病院 中川真澄

前回、医療法人 桜木記念病院の三浦有紀さんから紹介頂きました。恩賜財団 済生会明和病院の中川真澄です。

三浦さんは学生時代の先輩で学生時代はとても親切に接して頂き勉強面でも大変お世話になった方です。

現在、私は済生会明和病院に勤務し3年目になります。

業務内容にも慣れてきましたがまだまだ未熟な部分は多くあり先輩方から指導を受けながら日々を過ごしています。当院は回復期の病院ということもあり機能回復やADL能力の向上のためにリハビリを行う事で自宅・社会へ戻ってもらう様日々患者様と楽しくリハビリを実施しています。毎日リハビリを実施することで患者様自身のできる事が増えるとても嬉しく感じます。リハビリを行い退院される際に患者様から「ありがとう」と言われるたびにOTになって良かったと感じOTとしてのやりがいを感じています。



プライベートでは、昔からジグソーパズルをする事が趣味で仕事が休みの日は家にこもりジグソーパズルに没頭する日々を過ごしています。最近では1000ピースの建物や風景のものを好んで作っています。1000ピースともなると時間がかかり途中で挫折しそうになりますが完成した時の達成感がたまりなく、もっとやりたいという気持ちになります。完成したジグソーパズルの一部を写真に撮ったので載せたいと思います。これは私が持っているジグソーパズルの中で一番気に入っているものです。

今回は学生時代の同級生であり、学生時代に勉強のみならずプライベートでもお世話になった主体会病院に勤務している大石野乃花さんを紹介させていただきます。よろしくお願いします。

施設 紹介

市立伊勢総合病院

中村めい



1. 病院、施設紹介

当院は内宮から車で5分程度に位置する伊勢市立の総合病院です。2019年に現在の病院に移転しました。「人間性豊かな市民病院」を基本理念とし、病床は300床（一般180床、ホスピス20床、地域包括ケア60床、回復期リハ病棟40床）を有し、救急から回復期までの地域医療の一翼を担っています。リハビリテーション部門は、常勤のリハビリテーション科医師2名と理学療法士26名、作業療法士11名、言語聴覚士2名の39名が在籍しています。急性期から在宅復帰まで、質の高いリハビリテーションを切れ目なく提供することを目指しています。

2. 仕事紹介

今回、当院の特徴と作業療法士として働く際の魅力について紹介します。

急性期・外来部門では、一般病棟、地域包括ケア病棟、外来を担当します。脳血管・運動器・呼吸器・廃用症候群・がん患者リハで作業療法を実施しています。その中でも、運動器疾患の患者様が多くをしめています。当院には手外科専門医が在籍しており、手指切断、腱損傷、神経損傷、骨折などに対して手外科手術、マイクロサージャリーが行なわれており、必要に応じて術前から作業療法を実施し、手術見学を行い医師と後療法の検討をします。また、術後に使用する装具や変形性関節症に対する夜間装具など様々な病態、患者

様に合わせた装具作製も行っています。手外科医師と連携を密にしてuseful hand(使える手)を目標に作業療法を行なっています。手外科専門医のもとでハンドセラピーに携われることが特徴であり、働く魅力の一つです。

回復期リハビリ病棟では、当院の急性期病棟から転棟される患者様、他院から転院される患者様がおられます。作業療法では高次脳機能をしっかり評価すること、ADL訓練、職場復帰の支援を積極的に実施し、退院前の自宅訪問（現在は一時中止中）や家族指導にも力を入れています。訓練方法や退院支援において難渋している患者様に対しては、細かなプログラムや解決策を、リハビリテーション科医師が作業療法の訓練に同席し直接指導にあたってくれます。リハビリテーション科医と一緒にプログラムを考えリハチーム一丸となり患者様の治療にあたれることも、当院のリハビリの特徴であり働く魅力の一つです。

当院は回復期併設型の総合病院であり、作業療法士として急性期から退院支援に至るまでの様々な時期での作業療法を実践できることが、当院の大きな魅力であると感じています。

さらに、当院では、質の高いリハビリテーションの提供を目指しています。そのための、研究や発表の機会、スタッフ教育、指導体制も充実しています。また、地域医療への貢献として、リハビリテーション科医師と「伊勢志摩リハビリテーション研究会」「連携リハビリテーション研修会」を運営し、さらに手外科専門医と「伊勢志摩ハンドセラピー研究会」を立ち上げ、運営しています。

3. 今後について

他職種と連携し急性期、回復期、地域包括ケアと患者様の時期に応じて必要とされる作業療法を提供すること。作業療法士一人一人が質の高いリハ医療を提供し、地域のリハビリテーション医療の充実が図れるよう日々邁進していきたいと思っています。



イベント・研修会参加報告

「みえ OT ボッチャ体験会」に参加して

南勢病院 浅沼慎也

令和2年2月9日(日)に三重県作業療法士会福利部主催の「みえ OT ボッチャ体験会」に参加しボッチャとフライングディスクを体験しました。

ボッチャは、動画や文献で知っていましたが、実際に体験すると、とても楽しい競技でした。当日は、北勢チームと中勢・南勢チームに分かれて対戦しました。ジャックボールという白い球に、どれだけ近くに自分のボールを集められるかというゲームでした。自分のボールをジャックボールに近づけるだけでなく、ジャックボールを弾くことで妨害するような戦術もあり、興味がそそられました。回数を重ねれば重ねるほど、攻撃、防御の幅が広がるため、とても面白いスポーツだと感じました。

ボッチャでは引き分けとなり、勝敗はフライングディスクでの対決となりました。女性は5m、男性は7mの位置から、フラフープの大きさに通すものでした。最初はまっすぐに飛ばすことも困難でしたが、フラフープの中を通った時は、周りからの拍手もありよい雰囲気で行えました。

休憩時間には、お菓子を食べながら会話を楽しみました。自分たちの活動や他の病院や施設の活動などの交流もありました。また、実際の細かいルールや実際の競技者の話も聞



けて、とても勉強になりました。

今回、スポーツ体験を通して、三重県内の方々と交流できて、とても楽しい時間を過ごすことができました。今後、このような機会がありましたら、参加したいと思うと共に、知り合いなどを誘って、新たな交流の場を作っていきたいと思いました。



〔各部局、委員、ブロックの活動報告〕

新型コロナウイルス感染症対策に関する Zoom 情報交換会の開催

組織部部長 牧野有華

令和2年7月2日(木)に組織部主催による『新型コロナウイルス感染症対策に関する Zoom 情報交換会』を実施し、組織部員を含め12名の参加がありました。参加者の所属は総合病院や精神科病院、介護老人保健施設、作業療法養成校など様々で、役職は管理職から中堅辺りの方でした。

申し込み時に受けた質問を8つにまとめ、それについて順番に話していただきました。各職場で実施している物品の消毒方法や換気方法、休憩時間の過ごし方、スタッフの病棟配置など感染対策に関する情報交換をすることができました。

改めてひとりひとりが感染対策を意識することの重要性を感じることができたように思います。

情報交換会後のアンケートから参加者の満足度と開催時期はおおむね満足という結果が得られましたが、時間が21時開始だったのと終了予定時間も超過してしまったためやや不満の結果もみられました。

また、Zoomを用いて開催したことにより、どの地域からでも参加しやすい環境で情報交換会が実施できたことは対面での研修と比べると、子育てや介護などの家庭状況で参加したいのにできない会員に向けてアプローチができると感じ



ました。

組織部として初めて Zoom を使用し、不慣れな点もありましたが今後の研修運営に活用していきたいと考えています。

情報交換会后、7月末から三重県内は感染者数が連日10名以上という時期が続き、三重県は8月14日に緊急警戒宣言を発令しました。病院・診療所での感染、家庭内感染などもみられています。まずは手洗いや換気など普段の業務で行っていることを丁寧に続けていくことが大切だと思います。

今後も組織部は会員の皆様にとって有意義な情報や場の提供をしていきたいと考えております。よろしくお願いします。

作業療法説明会の開催

作業療法啓発部部長 島崎博也

作業療法啓発部が主催して、高校生への「作業療法説明会」(Zoom オンライン)を令和2年7月31日(金:19～20時)と8月2日(日:10～11時)の2回開催しました。参加してくれた高校生には、作業療法士の説明やビデオの視聴、現場で働く作業療法士の声を直接聞いていただきました。

実施後のアンケート結果では、全員から作業療法士について理解できた、進路の参考になった、参加して良かったとの回答が得られました。また、「作業療法士になりたいか悩んでいたけれど、なりたいという気持ちが強くなった」といった意見もいただき、大変有意義であったと感じています。

今回、毎年実施している「高校生作業療法体験・見学会」が新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら中止となりましたが、オンラインで「作業療法士」について説明することができ、新たな取り組みの可能性を模索することができま

した。また、参加していただいたスタッフからも、想像以上に高校生が作業療法に興味を持っ

てくれて嬉しかったことや、自分になりたかった作業療法士として毎日の業務に追われることもあるが、高校生に話をする機会を得て自分が本当にやりたかったことややりがいを確認することができ、作業療法に取り組む姿勢の見直しができ、といった感想を得ることができました。

最後になりますが、参加してくださったスタッフや周知にご協力いただきました皆様には、本当に感謝いたします。今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。



〔各ブロックの参加報告〕

北勢ブロック学習会の報告

北勢ブロック地区担当 多度あやめ病院 片岡浩士

令和2年8月23日(日)に「北勢ブロック学習会」を開催いたしました。

COVID-19の状況を鑑み、本年度はオンライン会議システムを用いて開催いたしましたが、それにも関わらず23施設、31名といった多くの方々にご参加いただきました。今回は2つの講義を、各講師の先生にご講演いただきました。

演題「矯正と更生保護」では、医療刑務所や社会復帰促進センターにおける現状や、作業療法士の役割・業務を詳しく伺うことができ、非常に勉強になりました。私自身、以前から矯正施設での作業療法について興味がありましたが、今回の講義を受けて、さらに興味が深くなりました。

演題「障がい者スポーツについて知ろう - 作業療法士にもとめられていること、できること -」では、作業療法士の役割



や必要性についてご講演をいただき、作業療法士の仕事の幅広さに、感銘を受けました。

今後も北勢ブロック全体としてスキルアップに繋がるような研修会を企画していきたいと思いますので、皆様の積極的な参加、ご協力をよろしくお願いいたします。今回の学習会に当たり、ご講演をいただきました先生や、お忙しい中参加していただきました方々に御礼申し上げます。

学術部南勢ブロック共催研修会に参加して

阿児第2通所介護センター真珠荘 南 基典

令和2年1月19日(日)に、三重県身体障害者総合福祉センター支援部に勤務されております臨床心理士の島村 藍先生に演題「高次脳機能障害 一回復期を終えてから社会復帰までの道のり」をご講義頂きました。

高次脳機能障害へのアプローチは常に困難で複雑で興味深い内容であり小職はこの類の研修には割と積極的に参加させて頂いています。それは学生時代にご講義頂いた現在、日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科教授の石井文康先生の授業が余りにも面白くて楽しくて興味深いものだった事から端を発し、作業療法士の奥深さに引き込まれ現在に至ります。また小職は元々心理学にも興味があり同じく当初授業頂いた臨床心理士の先生の授業で「箱庭療法」に触れた際の衝撃を今も鮮明に覚えています。臨床心理士に接触したのがこの時人生初めての事で、作業療法士とはまた違う奥深い業種に感銘を受けました。

今回ご講義頂いた内容は作業療法士目線による高次脳機能障害の講義ではなく臨床心理士目線だった事で新鮮な気持ちで聴講させて頂きました。講義以外にグループワークもあり課題に対するアプローチもできました。

島村先生がコメディカルへの情報提供の際に心掛けている事として「読み手がその人の息づかいを感じられるような所見を」や医学と心理学の違いでは医学は「診る、看る」、心



理学は「観る」、また高次脳機能障害の患者様との対話では「わたし」が「あなたの脳」をみる「二項関係」でなく、「わたし」と「あなた」で「あなたの脳を」みる「三項関係」の方がうまくいくなど、何か学生時代に忘れてきたものを思い出させてくれた気がしました。

職種は違えど患者様の「社会復帰」というゴールは同じで、それに向かってどうしたら良いのかというアプローチがそれぞれの専門性でお互いを補完しあうという多職種連携についても改めて考えさせられた講義でした。これからは高次脳機能障害の方と関わっていく事は続きますが、そういう意味で今回改めてスタート地点の再確認ができてとても有意義な講義でした。

県士会からのお知らせ

教育部からのお知らせ

令和2年度 三重県作業療法士会教育部主催勉強会、講習会について

教育部部長 富中真悟

新型コロナウイルス感染症対策により集合研修開催が困難な状況です。感染拡大防止の優先や県士会会員の安全確保のために状況に合わせて企画・運営方法を検討中です。

現職者共通研修は遠隔会議システムを利用し研修会を計画。テーマ1～8までは実施予定。テーマ9(事例検討)とテーマ10(事例報告)は開催方法を検討中です。現

職者選択研修の生活行為向上マネジメント(MTDLP)基礎研修は遠隔会議システムを利用し研修会を計画中です。

厚生労働省指定臨床実習指導者講習会は遠隔会議システムを使用した研修会を計画。予定は令和3年1月～2月に開催予定です。

決定次第、三重県作業療法士会ホームページに掲載しますのでご確認ください。ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いします

福祉部からののお知らせ・新入会員の皆様へ

三重県作業療法士会福祉部一同より

ご入会おめでとうございます。福祉部で入会記念品をご用意致しました。

三重県作業療法士会の「リハレンジャー」をデザインしたバインダーです。

発送は9月中旬以降を予定していますので、臨床場面や研究活動の中でご活用いただければ幸いです。

福祉部では会員の皆様の交流・情報交換の場となるイベントの企画・運営をしています。ご都合がございましたら是非ご参加下さい。三重県作業療法士会の一員として、どうぞよろしくお願いします。



事務局からののお知らせ

令和元年度 三重県作業療法士会会員 統計結果

三重県作業療法士会 副会長 松本周二

社団法人設立の25周年からは5年毎に統計をとっています。

事務局から、令和元年度三重県作業療法士会白書の統計結果を報告します。今回のデータは白書資料として令和元年10月1日時点でまとめたものです。

県士会発足から10年毎に白書を作成していますが一般

今回より個人の統計は5年毎、施設の統計は毎年更新する予定です。令和元年度10月1日現在の会員数は640名となっています。今回の個人統計は640名中304名からの回答で46.6%の有効回答率、施設統計は130施設中99施設からの回答で、76.1%の有効回答率でした。

個人アンケートの結果

図1 男女別会員数

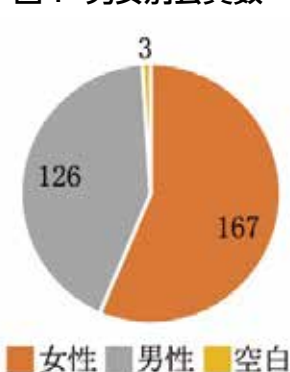


図2 年齢層

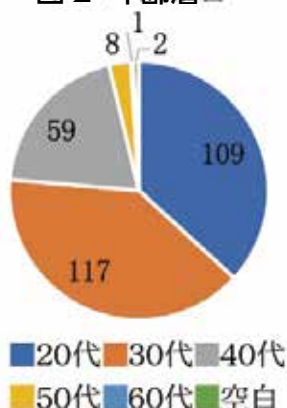


図3 所属ブロック

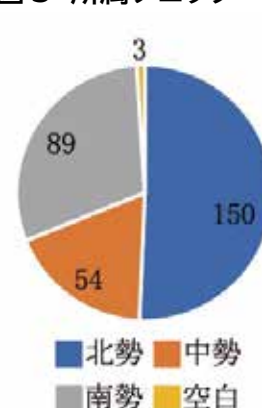


図4 現在の仕事に満足しているか

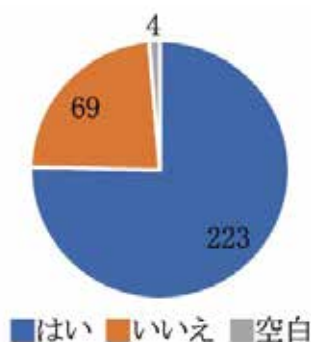


表1 勤続年数

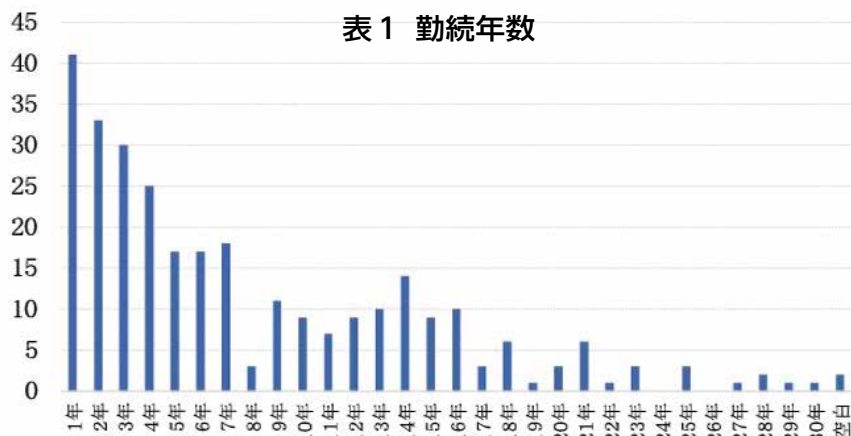


図5 雇用形態



図6 対象領域(複数回答)

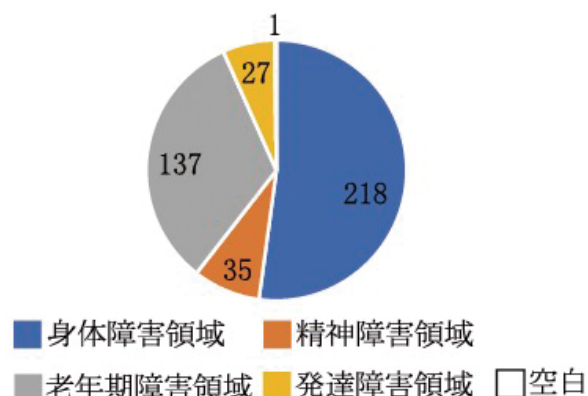


表2 対象者で多い疾患(複数回答)



表4 今の職場を選んだ理由(複数回答)

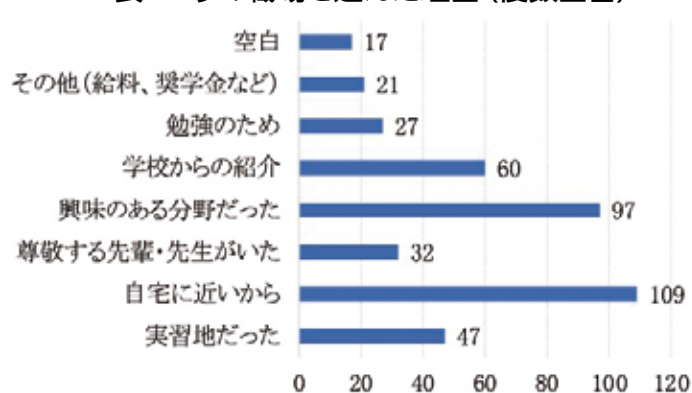
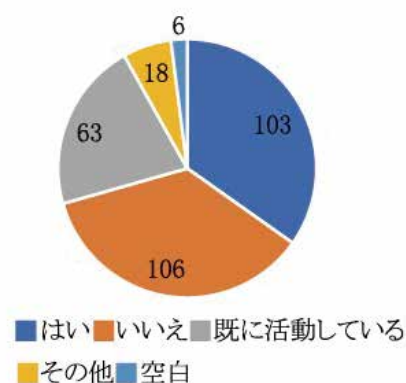


表3 出身校

国立病院機構東名古屋病院附属リハビリテーション学院	12	国際医学技術専門学校	
日本福祉大学	11	国際医療福祉大学	
サンビレッジ国際医療福祉専門学校	4	国立呉医療センターリハビリテーション学校	
あいち福祉医療専門学校	5	四條畷学園大学	
名古屋大学	13	埼玉県立大	
愛知医療学院短期大学	15	国立善通寺病院附属リハビリテーション学院	
星城大学	13	信州大学	
藤田医科大学	41	神戸大学医療技術短期大学部	
藤田保健衛生大学リハビリテーション専門学校	2	国立療養所箱根病院附属リハビリテーション学院	
中部大学	7	川崎医療福祉大学	
理学・作業名古屋専門学校	7	徳島健祥会福祉専門学校	
東海医療科学専門学校	10	都立保健科学大学	
名古屋医専	4	日本医療福祉専門学校	
ユマニテク医療福祉大学校	76	北海道千歳リハビリテーション学院	
河崎医療技術専門学校	1	豊田学園医療福祉専門学校	
関西福祉科学大学	1	日本福祉大学高浜専門学校	
岐阜保健短期大学医療専門学校	1	福岡リハビリテーション専門学校	
京都医健専門学校	1	姫路獨協大学	
京都大学	1	藍野大学(旧・藍野医療福祉専門学校)	
京都大学医療技術短期大学部	1	平成医療短期大学	
近畿中央病院附属リハビリテーション学院	1	徳島県医療福祉専門学校	
金沢大学	1	平成医療専門学校	

図7 県士会の活動に参加したいと思いますか



施設アンケートの結果

表1 職場の対象領域(複数回答)

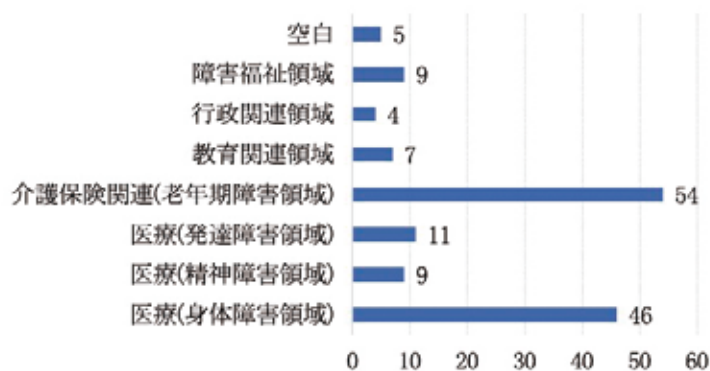


表2 勤務している職場の役職者の人数

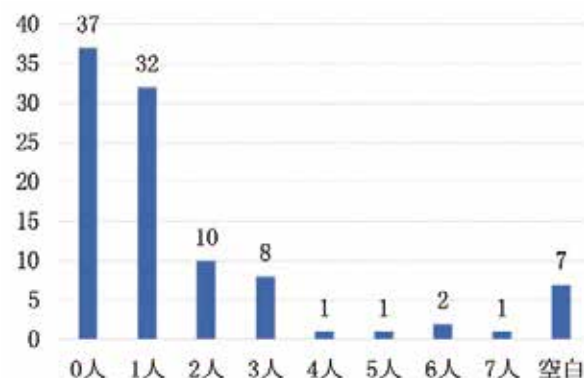
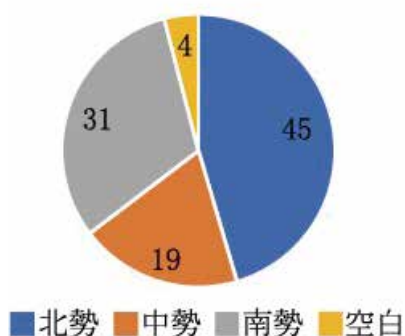


図1 所属するブロック



アンケートご協力
ありがとうございました。



[勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について]

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。

<http://mieot.com/info-cat/study/>

[求人情報のご紹介]

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

[賛助会員のご紹介]

NihonMokki のパズルレンタルのご案内

指先運動とパズルで脳トレ! 科学誌ニュートンにコラムを掲載していた Asobidia の本格パズルが定期的に届きます。

レンタルなので、パズルに飽きたころに新しいパズルが届きます!

お問い合わせは こちらの QR コードから



日本モッキ

https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

0596-65-6039

e-mail wood@nihonmokki.jp



TraceCoder

検索



株式会社システムネットワーク

上肢機能を三次元的かつ 定量的に評価

EBM (Evidence Based Medical) に基づいたリハビリテーションの実現へ

TraceCoder[®]は、タブレット端末をベースとした上肢機能における、主に巧緻性・協調性を評価ならびにトレーニングを実施できるシステムです。従来、主観的な評価であった上肢機能評価を定量的かつ客観的に実現することを可能としました。本機器は、書字機能の評価ツールとしても、多くの医療機関・研究機関に導入されており、CVA、パーキンソン病などの疾患のみならず、小児領域や整形外科領域においても評価訓練ツールとしてご活用いただいております。



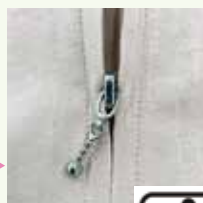
衣食住は、生活の基本です。

半開なので
かぶりやすい

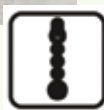
持ちやすい形状

円背・前傾の
方に対応

あらゆる人々が快適に着心地の良い衣服を選んで欲しいと願っています。それは高齢者、障がい者の方も同じです。当社は高齢者の暮らしに寄り添い、溶け込むことを最優先に、より良い生活を送るための洋服を提案しています。衣服のことでお困りごとがあれば、お気軽にお声掛けください。



当社は洋服の機能をわかりやすくするために単純なデザイン説明(ピクトグラム)を使用しています。



田中センイ株式会社 担当者: 田中友明

541-0055 大阪府大阪市中央区船場中央 3-2-8
船場センタービル8号館 B127 号室

TEL: 06-4256-3698 (SHOP)

E-mail: seni.tanaka@gmail.com

HP: <http://www.tanakaseni.co.jp/index.html>

SHOP: <http://tanakaseni.thebase.in/>

[編集後記]

2月から感染拡大が止まらない新型コロナウイルスですが、本号が発行される10月頃も、見通しが不透明だと思います。県内のイベントも中止や延期が多く、広報誌に掲載する記事も少なく、発行できるか不安でしたが、県士会員の皆様のご協力でなんとか皆様にお届けすることができました。

さて、当院ではコロナ禍の影響により、会議や研修会がリモートやオンラインを使用したシステムに変更になりました。苦手意識は払拭できませんが、今後も主流になるので、今から使い方を覚えましょう！

早速、9月のOT学会は、web開催で行われるため、どんな学会になるのか楽しみです。もちろん、しっかり勉強したいと思います。

(編集: 宮坂裕之、部局員: 伊藤篤史、渡邊 誠、岡田拓朗)

発行所

〒514-1296

三重県津市大鳥町424-1

藤田医科大学七栗記念病院内

一般社団法人三重県作業療法士会 広報部

発行責任者: 田中一彦

事務局

〒512-1111 三重県四日市市山田町5538-1

小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター内

一般社団法人三重県作業療法士会 事務局

TEL: 059-328-1260

FAX: 059-337-9511

e-mail: mieotjim@yahoo.co.jp